



日本共産党 北茨城市委員会 磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

インターネットでも ご覧いただけます。

http://ktib.geo.jp/jcp

ご相談は お気軽に

市議会議員 福田 明 43-0468

市議会議員 鈴木やす子 42-2462

亡くなった方の年金からも天引き？

テレビ番組を見て問い合わせ

後期高齢 医療制度

えっ！ 5月21日、テレビで、後期高齢者医療制度の保険料が「死んだ人の年金からも天引きされている」との報道がお茶の間に流れました。その二ニュースに登場した

家族は北茨城市の方で、役所の窓口での市職員とのやりとりも報道されました。日本共産党市議団にも、市民から「いまテレビで市役

所が出ていたので見てほしい」との電話がありました。

翌日、党市議団が市当局に確かめたところ、「4月に支給される年金は2月、3月分だが、3月に亡くなった方の年金から4月、5月の保険料が天引きされてしまった。現状では亡くなった方の年金から天引きをストップさせる措置を取るのに約1ヶ月半ないし2ヶ月

テレビで特集 「茨城空港」



5月29日の夕方、TBSテレビで「茨城空港」が特集で報じられました。日本共産党の大内久美子県議がムダづかいの実態を告発するいっぽう、自民党県議は「赤字は国が負担するから心配ない」と。これには、アナウンサーも呆れていました。

税金ムダづかい

「手をつなぐ育成会」総会



5月28日、市ふれあいセンターで「北茨城市手をつなぐ育成会」の総会と体験発表がおこなわれました。同会では、障害児(者)の自立支援のために、グループホーム事業に取り組んで

います(磯原駅東口「アーシャ」)。その経過も報告されました。昨年7月から、県事業の委託を受け、(自立のための)体験利用をしてもらっています。約150人の利用があり、少しずつ理解、周知されつつあります。今後、本格的なグループホームとしての運営、そのためのスタッフ養成、また経営的な問題など、たくさん課題があります。

体験発表では、養護学校に通う生徒さんの保護者、福祉センターの利用者、地元スーパーに就職しがんばっている姿、ボランティアグループの代表など、それぞれ

生からの発表もあり、特別支援教室に来る児童・生徒が増加傾向にあることが報告されました。支援員を増やすなど、体制の強化が求められます。

野口雨情記念館を視察しました。「茜平ふれあい財団」(豊田稔理事長)が指定管理者となっており、この春、女性職員が館長に抜擢され、がんばっています。2階建てのうち1階は、雨情に関する展示。2階が地元産業の紹介と公民館活動の展示スペースとして運営されています。

2階の一角では「炭鉱から近代工業団地へ」というテーマで、炭鉱全盛のころの資料から、現在の市内企業の独自の製品などが紹介されています。今後、常磐興産からの資料提供を受けたり、映画「フラガール」関連の展示も予定しています。また、2ヶ月ごとに各

公民館祭りでの作品を展示するコーナーが設けられました。おかげで、地元の関係者が友人どうしで連れ立ってくる姿も増えているそうです。ロビーには北茨城養護学校の生徒さんの作品も展示されています。

公民館祭りでの作品を展示するコーナーが設けられました。おかげで、地元の関係者が友人どうしで連れ立ってくる姿も増えているそうです。ロビーには北茨城養護学校の生徒さんの作品も展示されています。

展示内容の検討や資料保存など高度な知識を必要とする業務も多く、少しでも専門の

田理事長は「経費が高く、今後の検討課題」と答えるにとどまっています。しかし博物館として機能させるためには、非常勤での対応を含め、きちんと考えるべきです。

6月定例市議会の予定

- 6月6日(金) 初日
- 6月12日(木) 一般質問
- 6月13日(金) 一般質問
- 6月16日(月) 建設委員会
- 6月17日(火) 産業委員会
- 6月18日(水) 文教厚生委員会
- 6月19日(木) 総務委員会
- 6月23日(月) 最終日

雨情記念館 北茨城市議会議員 鈴木やす子

